

取組みテーマ：「自力読み」南山プランで読解力を高める国語科の授業～一人でじっくり読んで考え表現する力の獲得～

背景・取組みの方向性

これまで「主体的・対話的で深い学びを実現するための国語科の授業～読み取ったことをもとに自分の考えを表現する～」を主題に研究を行ってきたが、平成30・31年度の全国学力・学習状況調査の結果から、「文章をしっかり読み取る」「自分の考えをもつ」「考えたことを文章に表す」などに課題があることが分かった。

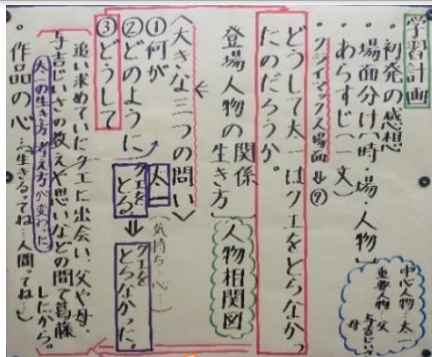
・児童の実態をふまえて、表現する（相手に伝える）ために、情報や内容等についての読解力を高めることをめざし、取組みテーマを「自力読み」南山プランで読解力を高める国語科の授業～一人でじっくり読んで考え表現する力の獲得～とした。また、「全教員の意識共有と授業力の向上」「6年間を見通した段階的な指導計画の作成」「ゴールの姿を見据えた学習計画の作成」「どの児童も主体的に参加できる授業の確立」に学校全体で取り組んだ。

具体的な取組み① 「自力読み」南山プランの作成

・読解力を高めるために、何を大切に授業を行っていくか全教員で確認し、具体的な取組みやポイントを示し、共有した。

(別添資料①)

- ① 作品全体を読む（構造と内容の把握）
  - ② 作品の中心を読む（精査・解釈）
  - ③ 作品全体をまとめる（考えの形成・共有）
- ・物語のクライマックス場面（山場）にある大きな変容に着目すると、物語をより深く読み取ることができることから、物語の大きな三つの問い（「何が変わったのか」「どのように変わったのか」「どうして変わったのか」）を解決していくことを柱に授業展開を考える。
- ・場面ごとに物語を読み取るのではなく、物語の全体から読み取ることができるよう、教科書の全文を一枚のプリントにまとめたものを使用した。



**ポイント** ・クライマックス場面を確認する際、三つの問いに関わる単元全体の中心課題を児童と共有する。（6年「海の命」学習計画（その後の書き込みを含む））

具体的な取組み② 物語の学習における系統表の作成

・前年度の各学年の取組みをまとめ、学年ごとに8つの観点において児童につけたい力を系統表にまとめた。

**ポイント**  
系統表を作成することでゴールが明確になり、学習計画が立てやすい。全教員が6年間の学びを見とおすすめができる。（系統表一部抜粋）

	5年	6年
物語の構成	基本4場面構成を理解する。 ・前ばなし場面（設定） ・出来事の展開場面（展開） ・クライマックス場面（山場） ・後ばなし場面（結末）	叙述をもとに、クライマックス場面について考えを深める。
時の設定	物語作品全体で、どのくらいの「時」にわたる出来事か理解する。〔時代・年・月〕	物語作品全体から、「時」の言葉に着目し、「時」の経過を整理してとらえる。
場の設定	物語作品全体で、出来事の展開に応じた、人物の「場」の移動について理解する。	物語作品全体から、「場」の言葉に着目し、「場」の変化を整理してとらえる。
人物	・「中心人物」の変容をとらえる。（「山場」場面における最も大きな変容。） ・「中心人物」と「重要人物」等の関わりをとらえる。（人物相関図） ・場面の展開に応じた、「中心人物」と「重要人物」の関わりの変容をとらえる。	・「中心人物」の変容を踏まえた短い文章。特に、クライマックス場面における「あること」の大きな変化」を中心にまとめる。
あらすじ	〈あらすじ②〉 クライマックス場面における「あること」の大きな変化」を中心にまとめる。	〈あらすじ②〉 基本4場面の構成を踏まえた短い文章。特に、クライマックス場面における「あること」の大きな変化」を中心にまとめる。
表現	表現の効果について理解を深める。 ・繰り返し（反復）・倒置法・比喩・暗示 ・擬人法・慣用的な表現・オノマトペ ・情景描写	・心情描写・直喩・対比・聴喩 （文章表現に活かす。）
視点	どの人物に寄り添い、誰の心の中を描きつつ物語を進めているか理解する。	物語の中で視点の変化について気付き、読み取る。
主題	中心人物の変容、題名の意味などから「作品の心」を感じ取り、自分の考えを表現する。	物語の構成やあらすじ・中心人物の変容、題名の意味などから「作品の心」を感じ取り、自分の考えを表現する。

(別添資料②)

取組みの成果と課題、今後に向けて

- 成果
  - ・自分の考えをノートに「書くこと」ができる児童が大幅に増えた。・叙述を根拠にした自分の考えをもつことができた。
- 課題
  - ・「話すこと」において、クラス全体で意見を交わし、中心課題に対する答えを深め合うことに課題がある。
- 今後に向けて
  - ・自分の考えを伝える力（特に話す力）をつける。
  - ・身に付けた読解力を物語にとどめず、説明文など他の分野また他教科の理解に活かしていく。

質問項目	R3.4	R3.12
めあてをもって、自分でじっくり考えている。	81%	87%
友だちの考えと比べながら、自分の考えをまとめる（もつ）ことができる。	79%	86%
授業中、話し合う活動を通じて、自分の考えを広めたり深めたりしている。	76%	82%